



トヨタ ヴィッツ ハイブリッド

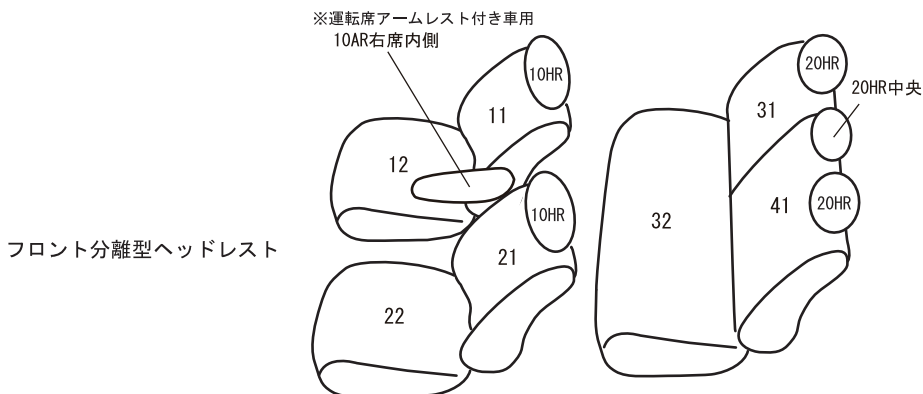
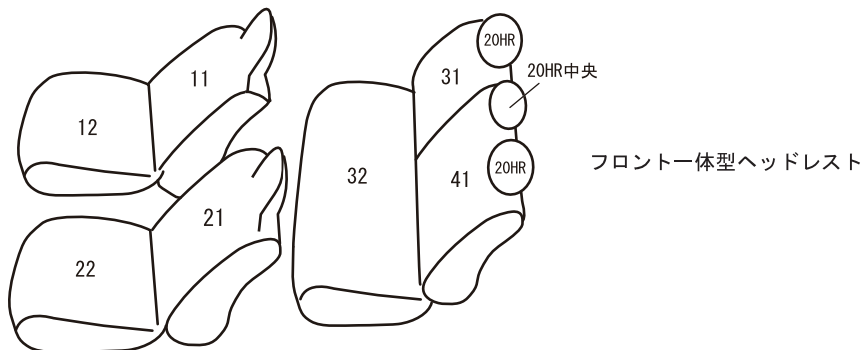
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

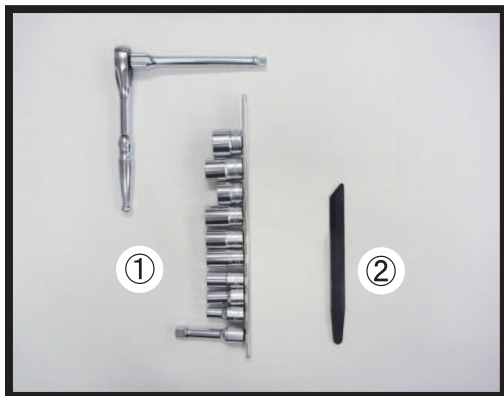
- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

1122/1123/1124

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ① ソケットレンチセット
(AR付き車のみ必要です)
- ② ヘラ (付属)

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

1 列目座面



①始めに、シート背面からシート裏にゴムで固定されている図の部分を外します。



④シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。
※助手席が買い物アシストシートの車は、プレートとシートの隙間に生地を入れ込んで下さい。



②カバーを裏返して、シートのラインに合わせてみます。



⑤背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



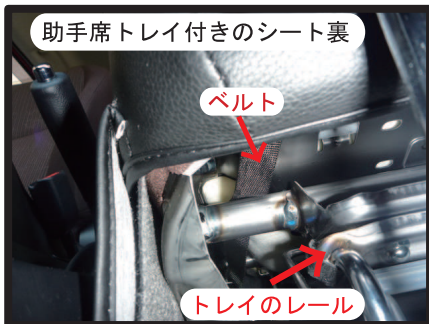
③カバー内側面の加工穴にシートベルトバックルを通します。



⑥シート背面から生地を引き出します。



⑦カバー外側面の生地を、シートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。ヘラなどを使用すると生地が入れ込みやすくなります。



⑩カバー前方に付いているベルトを、シート裏を通して背面から引き出します。助手席シートアンダートレイ装着車は、トレイ用レールの上を通して背面から引き出します。



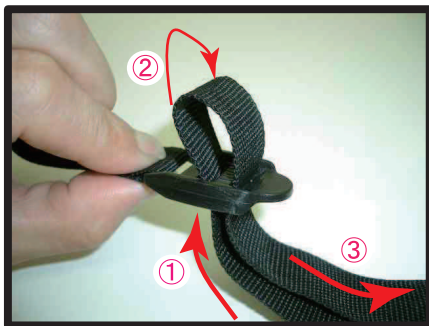
⑧カバー内側面の生地裏の一番端と中央にマジックテープが付いています。中央のマジックテープはシート側面の、図の赤枠部分に直接貼り付けて固定します。



⑪シート背面から引き出したベルトを1ページ⑥で引き出した生地についているバックルと固定します。



⑨カバー内側面の生地を、図の隙間に入れ込みます。カバーの端に付いているマジックテープを、直接シートの生地の端に貼り付けて固定します。



⑫ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞りが固定されます。

1 列目座面続き

1列目背もたれ(ヘッドレスト一体型)

※ヘッドレスト分離型の説明は5ページからご確認下さい。



⑬ベルトを固定した後、シート背面の生地を、マジックテープで直接シート本体に貼り付けて固定します。



①カバーを半行程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。この際ヘッドレストの先端まで生地が張るように、しっかりかぶせて下さい。



⑭シート背面は図のようになります。



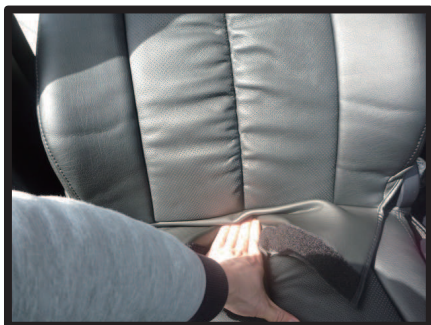
②1ページ①で外した生地を矢印の方向へめくり上げて、背もたれカバーの中へ入れ込みます。



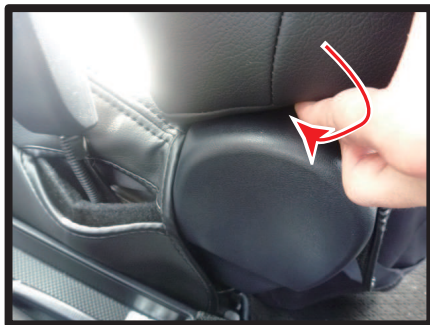
⑮シートのラインを整えて、運転席座面の完成です。
助手席は一部形状が異なりますが同様に取付けます。



③シートのラインからずれないようにシート全体にカバーをかぶせます。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます



⑦シートの付け根部分のフチに生地を入れ込みます。



⑤入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑧⑤で引き出した生地と、カバー背面下をマジックテープで固定します。



⑥図の①～③の順番に生地をなで下ろして、背もたれ中央下に寄った生地を、シート背面から⑤の生地を引き直して伸ばします。この作業を繰り返して、シートに密着させるようにカバーのシワを無くしていきます。



⑨カバー背面下に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。

1列目背もたれ(ヘッドレスト一体型)続き



- ⑩金属フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。
生地でシート裏を覆っている場合は、覆っている生地の端から金属フックを引っ掛けて固定します。



- ⑪シート背面下は図のようになります。



- ⑫カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。

1列目背もたれ(ヘッドレスト分離型)

※アームレスト装備車はアームレストを外します。13ページをご覧ください



- ①カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。この際肩口まで生地が張るように、しっかりかぶせて下さい。



- ②1ページ①で外した生地を矢印の方向へめくり上げて、背もたれカバーの中へ入れ込みます。



- ③シートのラインからずれないようにシート全体にカバーをかぶせます。



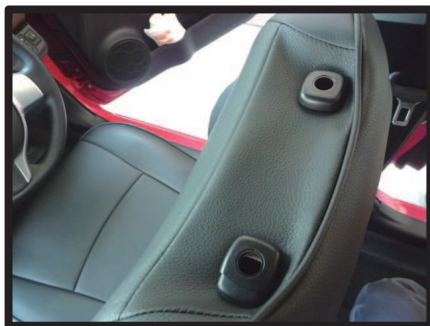
④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑦ヘッドレストの台座を取り出します。図のように台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



⑤入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑧生地伸びを利用して台座を取り出します。革等の伸びにくい生地の場合は少しずつ慎重に作業を行ってください。無理な力が加わると破れる恐れがあります。



⑥図の①～③の順番に生地をなで下ろして、背もたれ中央下に寄った生地を、シート背面から⑤の生地を引き直して伸ばします。この作業を繰り返して、シートに密着させるようにカバーのシワを無くしていきます。



⑨⑤で引き出した生地とカバー背面下を、マジックテープで固定します。

1列目背もたれ(ヘッドレスト分離型)続き



⑩カバー背面下に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。金属フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。

※5ページ⑩を参照



⑪シート背面下は図のようになります。

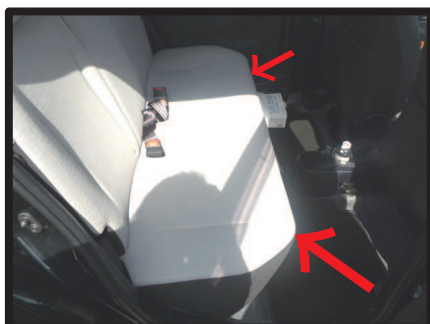


⑫カバーのラインを整えて、運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

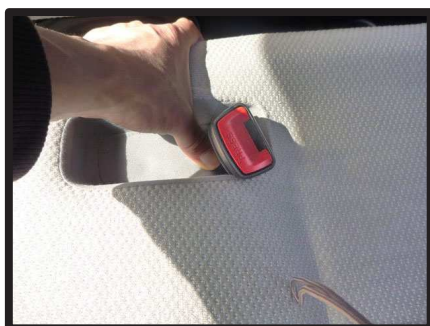
2列目座面



①2列目座面はシートを車体から外してカバーの取り付けを行います。シートは真上に持ち上げることで留め具からツメが抜けて外れます。赤丸部分にツメと留め具があります。



②シートを持ち上げる位置は、矢印部分のツメがある位置です。矢印の位置に手を掛けて、上へ持ち上げると外れます。車両によっては固い場合があります。



③車体から出ているシートベルトバックルをシートから抜きます。



④外したシートは車外へ運び出します。
車外へ運び出す際、車体等に傷が付かないよう注意して下さい。



⑦シートを裏返します。
シート前側のツメをカバーの加工穴に通します。



⑤シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑧カバー前後のベルトを固定します。



⑥シート後ろ側の赤丸部分にカバーの加工穴を通します。



⑨カバー側面からヒモが出ています。
片方のヒモで図のように輪を作ります。

2列目座面続き



⑩作った輪にもう片方のヒモを通します。



⑬カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。シートは背もたれカバーを取り付けた後、車体に戻します。



⑪通したヒモを引き、座面下周りを絞り込み結び留めます。



⑭車体に戻した後、シートベルトバックルを取り出し、収納部の生地を入れ込みます。



⑫固定した図です。



⑮シートを車体に戻しシートベルトバックルを取り出す際、シートベルトを取り付けてから引っ張り出すとバックルを取り出し易くなります。

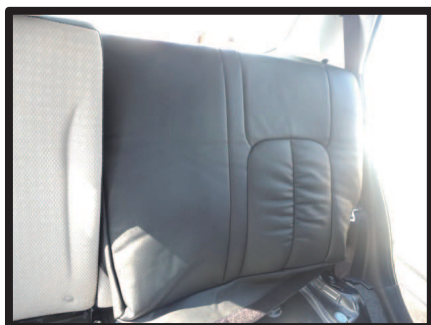
2列目背もたれ



- ①図は助手席側です。
カバー内側面に付いているファスナーを、開けた状態にしておきます。カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。



- ④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。この際シートの付け根部分を包み込むように生地を入れ込んで下さい。



- ②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



- ⑤入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- ③ヘッドレストの台座、シートの固定を解除する肩口のレバーを、カバーの加工穴から取り出します。



- ⑥引き出した生地とシート背面をマジックテープで固定します。

2列目背もたれ続き



- ⑦シート側面のファスナーを閉じます。ファスナーは生地を内へ寄せながら慎重に閉じて下さい。ファスナーの先端はカバーの中に入れ込みます。



- ⑩図のように仕上がります



- ⑧図のようにシート背面のロック部分の周りを、マジックテープでシート本体に直接固定します。



- ⑪シートのラインを整えて、2列目助手席側背もたれの完成です。運転席側も一部形状は異なりますが同様に取付けます。



- ⑨シート背面のチャイルドシート固定用バーのあるプラスチックのフチに生地を入れ込みます。

ヘッドレスト



①カバーを半分程裏返して、ヘッドレストの先端までしっかりとかぶせませす。カバーは平らなプラスチックの板が付いているほうが前です。



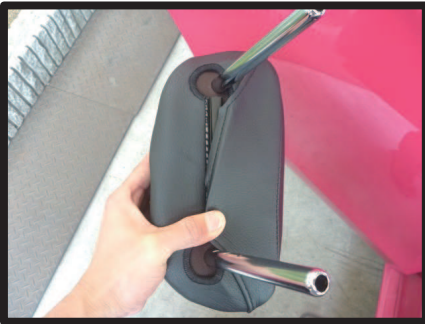
④フックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地とともに折り返して挟み込み、固定します。



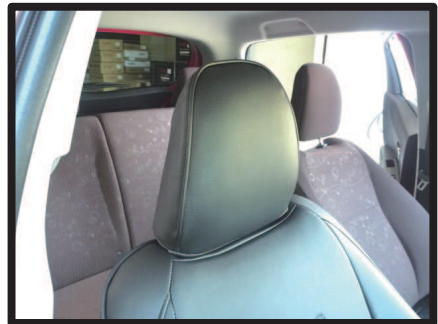
②ヘッドレストのラインからずれないように、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせませす。



⑤固定されるとヘッドレスト裏からはステッチが見えませせん。カギ状のフックの中に隠れませす。
※フックを引っ掛けただけではステッチが見え、固定されませせん。



③ヘッドレスト裏でプラスチックフックを固定させませす。



⑥ヘッドレストをシートに戻して、カバーのラインを整えませす。
1列目ヘッドレストの完成です。
2列目両サイドのヘッドレストも形状は異なりませすますが同様に取り付けませす。

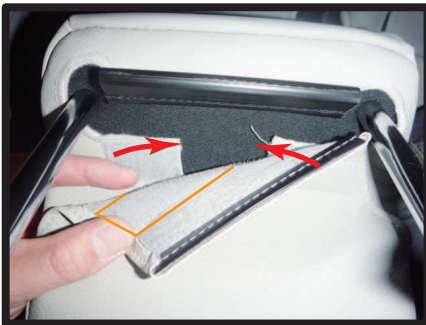
運転席アームレスト装備車



⑦ 2列目中央ヘッドストは下から上へ持ち上げるようにかぶせます。



① 運転席アームレスト装備車は背もたれカバーを装着する前に、アームレストをシートから外します。側面のキャップをヘラなどを使用して外し、中のボルトをソケットレンチなどを使用してアームレストを外します。(ソケット14mm)



⑧ ヘッドレスト裏の図です。両端のメス側のマジックテープの付いた生地を内へ寄せながら、オレンジの線で囲んだオス側のマジックテープを貼り付け固定します。1列目と同様にプラフックで固定します。



② 背もたれカバー装着後、アームレストにカバーをかぶせます。図のようにカバーを半分ほど裏返して、アームレストの先端までしっかりとかがせます。



⑨ 固定した図です。ヘッドレストをシートに戻し、カバーのラインを整えて完成です。



③ アームレストの内側のみカバーを引っ掛けるようにかぶせます。

完成図



④アームレストをシートに戻します。
側面のキャップを取り付けます。



1列目（ヘッドレスト一体型）



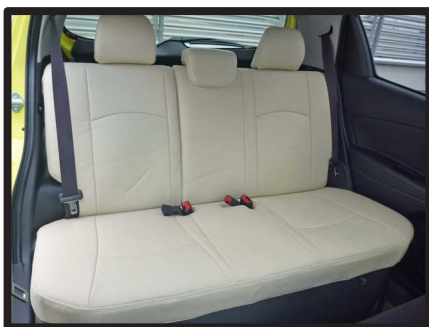
⑤カバー外側の生地をアームレスト全体にかぶせて、生地を寄せながら慎重にファスナーを閉じます。



1列目（ヘッドレスト分離型）



⑥カバーのラインを整えて完成です。



2列目

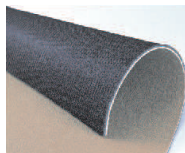


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などに付けてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。

